



# バンコク便り



## 1. はじめに

タイ気象局は5月13日に雨季入りを発表しました。バンコクでは10月中旬頃まで雨季が続き、曇り空が多く時折スコールがあるものの、1日中降り続くことは少ないため、観光も十分楽しむことができます。バンコクの街中は観光客が増え、コロナ禍前のような渋滞も増えてきているようです。暑季とは別の蒸し暑さがあり、湿度の影響から体感温度が非常に高くなることがあるため、訪タイされる方は体調にお気をつけください。

## 2. 現地ビジネス情報

### (①6月からのタイ入国について)

タイ政府の発表によると、6月からのタイへの入国がさらに簡素化され、入国前に取得する必要があるタイランドパスがタイ人では不要、外国人でも必要情報入力後、すぐにシステムから自動的にQRコードが発行される予定です。今までは発行まで数日程度の時間を要していましたが、より気軽にタイへ行けるようになりそうです。近日中に在東京タイ王国大使館からも正式発表されますので、最新情報はホームページよりご確認ください。在東京タイ王国大使館 HP: [https://site.thaiembassy.jp/jp/?sphrase\\_id=998](https://site.thaiembassy.jp/jp/?sphrase_id=998)

さらに6月1日からは2020年3月頃の新型コロナ第1波時より営業禁止となっていたバーやパブといった娯楽施設の営業がバンコクを含む一部地域で正式に認められる予定です。しかしながら、バンコク都内のバー経営者からは「コロナ禍で生活習慣が変わってしまい客足がすぐに戻るとは思えない。まだまだ静かだが観光客が本格的に戻ってくれば街中の動きも変わってくると思う。」といった話が聞こえました。タイでは更なる規制緩和を予定しており、早ければ7月頃には以前と同じ自由な渡航が再開され、出張者・観光客などの往来が増えるものと期待されています。

### (②FBC アセアンものづくり商談会 2022 のご案内)

弊行ではNC Network Group 主催、タイ・ベトナム同時開催の「FBC アセアン 2022 ものづくり商談会」に共催しております。当商談会は、製造業及び製造関連企業のタイ・ベトナムでの部品調達や販路拡大、ビジネスパートナーの発掘を目的としておりますので、在タイ・ベトナムの日系企業、地元企業及び他の出展企業との商談の場としてぜひご活用ください。なお弊行経由でお申し込みの場合、出展料金が割引となります。詳細は以下をご確認願います。【申込締切】6月24日(金)

開催概要: <https://www.shonai.co.jp/information/newsrelease/2022/202203283/index.pdf>

## 3. 現地トピックス (タイ北部の都市・チェンマイ)

バンコクから飛行機で1時間程の場所にあるチェンマイは、2019年に山形県タイ友好協会が桜の木を植樹した都市です。渡航緩和により今年こそは桜が成長した姿を直に見ることができるのではと思っています。比較的涼しいチェンマイではゴルフを楽しまれる方も多いですが、寒暖の差が激しい乾季の気温が10度を下回る日があるため、服装には注意が必要です。そんなチェンマイにはいくつか名物があり、タイ北部料理の代表格「カオソーイ」はぜひお試しいただきたい料理です。この料理は、カレースライスが入ったココナッツミルクベースのスープが特徴のタイ風カレーラーメン



出展: タイ政府観光庁

で、日本人でも食べ易いのでお勧めです。

次はなんといっても、毎年11月頃に開催される「コムローイ祭り」です。ディズニー映画のワンシーンのモデルになったとも言われる無数のランタンを夜空へ打ち上げる幻想的な景色は、タイでもトップレベルの美しさといえます。そのほか、パワースポット寺院「ドイ・ステープ」や山岳地帯に住むモン族が経営する雑貨市場など、バンコクでは体験できないことがたくさんあり、ぜひチェンマイまで足を延ばされることをお勧めします。

